



TITLE:

和歌山県西牟婁郡白浜町番所崎, 京都大学瀬戸臨海実験所 "北浜" と
"南浜" および白浜沖から採取した
タコブネ(頭足類)の貝殻

AUTHOR(S):

久保田, 信; 田名瀬, 英明; 湯浅, 和良

CITATION:

久保田, 信 ...[et al]. 和歌山県西牟婁郡白浜町番所崎, 京都大学瀬戸臨海実験所 "北浜" と
"南浜" および白浜沖から採取したタコブネ(頭足類)の貝殻. 南紀生物 2013, 55(1): 57-58

ISSUE DATE:

2013-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188346>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

和歌山県西牟婁郡白浜町番所崎, 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”と “南浜” および白浜沖から採集したタコブネ (頭足類) の貝殻

久保田 信*・田名瀬 英朋**・湯浅 和良***

Shin KUBOTA, Hidetomo TANASE and Kazuyoshi YUASA: Shells of *Argonauta hians* (Cephalopoda)
collected on Banshozaki, “Kitahama” and “Minamihama” beaches of
the Seto Marine Biological Laboratory, Shirahama and off Shirahama, Wakayama, Japan

はじめに

タコブネ *Argonauta hians* (LIGHTFOOT, 1786) は世界の暖海域の表層で浮遊生活する頭足類の一種で, 我が国沿岸からの漂着記録は多くはない (林, 2009)。和歌山県沿岸からは軟体部が残っている新鮮な個体が報告されている (丸山, 1989; 久保ほか, 2012)。和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”や

“南浜”および番所崎には 500 種余りもの大型貝類の貝殻が漂着するが, その中に本種も確かに含まれている (久保田・小山, 2002a, b)。ところが, 2012 年までの約 15 年間にわたる調査では本種はただ 1 個体の打上であった。今回, この調査海域で最近 2 個体目の漂着があったので記録する。これと同時に, 当該区域に 2004 年に漂着していた未記録のままの貝殻や通年, 白浜沖で網にかかったものも報告する。

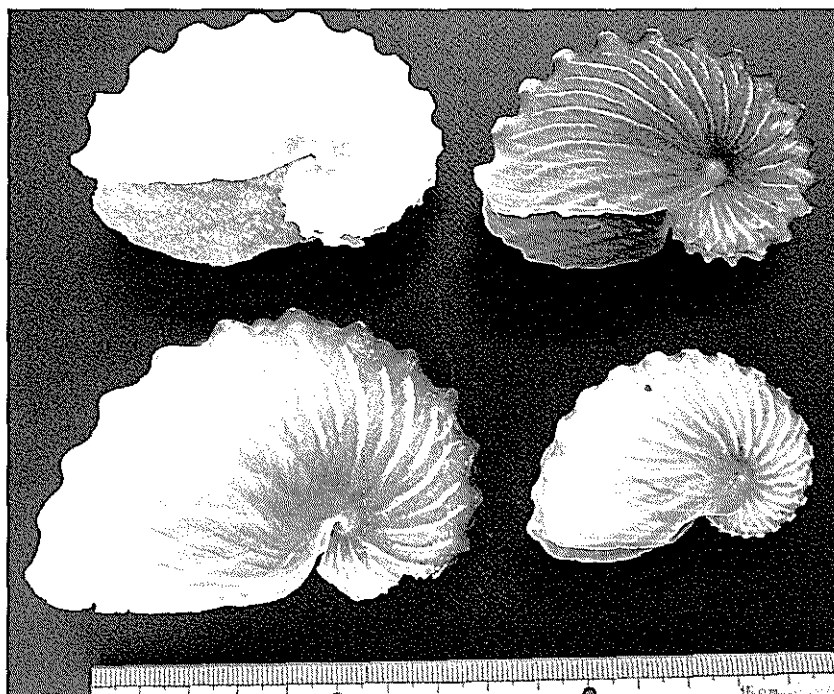


図 1 和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する番所崎 (左上), 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜” (右上), 京都大学瀬戸臨海実験所“南浜” (右下) に漂着したタコブネ貝殻および白浜沖で巻網にかかったタコブネ貝殻 (左下)

* 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
** 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 676
*** 〒 645-0003 和歌山県日高郡みなべ町界 626

記 録

当該調査区域で最初に記録された貝殻（久保田・小山, 2002b）は色あせてほとんど全体が白くなっており、一部破損があるもので、2001年8月20日に番所崎に打ち上がった（図1, 左上）。最近漂着した貝殻は新鮮で、色も抜けていないまま、2012年12月5日に“北浜”に打ち上がった（図1, 右上）。これら久保田が発見した2個体について、最大殻幅である開口部の張り出し部は、両者それぞれ37 mmと32 mmであり、長短交互にある龍骨部は32本と38本あり、それに対応して形成されているイボは18個と21個みられ、両者ともよく成長している個体であった。残りの1個体は田名瀬によって発見された2004年8月30日に“南浜”に漂着した未記録のもので、開口部の張り出し部は26 mmとやや小型であるが、イボは23個、龍骨部は31本であり、破損がほとんどなく、色もあせて白くなっていなかった（図1, 右下）。以上の僅少な記録ではあるが、当該調査域では本種は5年に1回くらいの頻度で打ち上がる稀少種であろう。これだとオウムガイ *Nautilus pompilius* LINNAEUS の漂着より（久保田ほか, 2010）2倍の頻度で発見されていることになる。

一方、白浜沖17 kmに設置されたGPS波浪計（水深400 m地点; 33° 38' N, 135° 09' E）の周辺で、湯浅が2011年5-6月に操業した巻網（深さ100 m）で1個の貝殻を採取した。それは打上で得られた上記3個体より

も大きく、開口部の張り出し部は35 mm、龍骨部は27本、イボは13個（貝殻の一部破損のためイボの数だけは本来の数より少ない）であった（図1, 左下）。

謝 辞

GPS波浪計についてご教示下さった京都大学防災研究所白浜海象観測所の久保輝広氏に感謝致します。

引 用 文 献

- 林 重雄. 2009: 福井県北部沿岸におけるタコブネ（カイダコ科）の漂着. 漂着物学会誌, 7, 1-4.
- 久保喜計・武内啓明・山野ひとみ・浅井俊亘. 2012: 和歌山市磯ノ浦沿岸で得られたタコブネ（頭足綱, タコ目, アオイガイ科）. 南紀生物, 54 (1), 77-78.
- 久保田 信・小山安生. 2002a: 番所崎, 特に“北浜”（和歌山県白浜町）へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録 (1). 南紀生物, 44 (1), 69-76.
- ・———. 2002b: 番所崎, 特に“北浜”（和歌山県白浜町）へ打ち上げられた軟体動物貝殻目録 (2). 南紀生物, 44 (2), 133-139.
- ・桧山嘉郎・山本泰司・田名瀬英朋・湊 宏・小山安生. 2010: 白浜町沿岸へのオウムガイ（オウムガイ科）の漂着4例. 南紀生物, 52 (1), 79-80.
- 丸山清重. 1989: タコブネ（収蔵庫日より25）. 和歌山県立自然博物館日より, 7 (1), 7.